

編 集 後 記

☆本号は研究ノートが二編、資料紹介が一編です。

☆平野氏の論文は、当館所蔵の本草のコレクションの中に収録されている写本から、小笠原諸島開拓前史である江戸後期の探索記について、人物と本草の二つの観点から考察しています。小笠原島開拓事業に関わった本草学者の事績と、幕末の本草学が明治中期までの殖産興業策に少なからぬ役割を果たしたことが資料に即して明らかにされています。

☆加藤氏の論文は、日本の旧植民地における図書館の接収問題に関する調査を中間報告としてまとめたものです。とくに、シンガポールのラッフルズ博物館・図書館について、同館の接収と資料保護が行われた一方、数万冊の図書が日本に移送されて帝国図書館に保管され、戦後GHQの命令で返還されたことなど戦争と図書館をめぐる興味深い事実が述べられています。

☆白戸氏の合巻の資料紹介は本号の下巻をもって終了です。

☆次号はいよいよ50号となります。特集号の企画として、国立国会図書館所蔵の戦前期美術展覧会関係資料目録を掲載の予定です。当館の蔵書目録からは所蔵の確認が難しい美術展覧会目録を紹介いたします。ご期待ください。

☆なお、『参考書誌研究』は日本図書館協会から販売されています。同協会の連絡先は下記のとおりです。

〒154-0004 東京都世田谷区太子堂1-1-10

電話 03-3410-6411

(村上)

○編集委員

枝松 榮

富窪 高志

村上 清子 (参考課) 鈴木 昭博 (参考課)

池田優美子 (〃) 柳沢 房子 (官庁資料課)

川本 勉 (〃) 井坂 清信 (政治史料課)

加藤 浩 (〃) 吉田 孝子 (科学技術資料課)

野口 貴弘 (〃) 宮尾 恵美 (アジア資料課)

高橋 貞子 (〃) 山本 昭子 (特別資料課)

参考書誌研究 第49号 平成10年3月31日発行

編 集 国立国会図書館専門資料部

発 行 国立国会図書館

東京都千代田区永田町1の10の1

(〒100-8924)

電 話 3581-2331 (代)

ホームページ <http://www.ndl.go.jp>

印 刷 株式会社 ディグ 電話 3551-3060 (代)

本誌に掲載された記事を全文または長文にわたり抜き取り転載されるばあいには、事前に専門資料部参考課へ連絡してください。